

# かけはし 278

“278”とは南郷中の全校生徒数です

平成29年4月11日(第1号)

校長 野口 司  
875-9494

春光天地に満ちる時季となり、野山に花の香りがあふれ、心弾む季節となりました。暖かな陽射しをじっと待っていた木の芽も芽が吹き、桜の花に象徴されるように全ての物事が一新されるとともに、心がワクワクするような躍動を感じる時です。この希望に満ちた春に日に、99名の新入生を迎え、2年生102名、3年生77名、合わせて278名で南郷中学校の新しい年がスタートしました。

南郷中学校は、教職員一同、協力して日々の教育活動に努めてまいります。中学校3カ年の学校生活を通して、生徒一人ひとりが教育目標である「自立心」と「共生力」を身に付けて巣立っていけるよう、そして子どもたちが伸び伸びと成長できるよう、保護者の皆様、地域の方々のお力をお借りしながら、取り組みたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 平成29年度の教職員の紹介 ☆今年度着任 ◎主任

### 1学年

A組	長田康佑☆	数学
B組	小川義明☆	数学
C組	川島直樹☆	美術
所属	木下さやか◎	技術・家庭
所属	山川俊樹	社会
所属	露木亜沙美	そよかぜ・英語

### 2学年

A組	平元遼一	英語
B組	萩原由香理	社会
C組	高橋貴徳	数学
所属	細谷裕子◎	国語
所属	水落勝彦	保健体育
所属	吉田将基	理科

### 3学年

A組	蓋 孝史	保健体育
B組	坪上裕香	国語
C組	山口 聡	理科
所属	三橋 亮◎	音楽
所属	松浦幸代	英語
所属	梶ヶ谷隼弥	そよかぜ・数学

### 学年外

校長	野口 司	町費教員	中澤桂子	学習支援	佐藤あけみ☆
教頭	羽太完侍	町費教員	八神由佳里	学習支援	荒川優子☆
そよかぜ	山田大介	町費教員	松村潤子☆	図書整理員	鎌田明子
養護教諭	角川桃子	A L T	K.W.ヴァルコ	スクールカウンセラー	三本木泰代
事務主査	青柳 知	学習支援	長谷川昌代	相談員	佐藤麻衣子
業務	関 明校	学習支援	藤村真珠☆		

## 離任職員の紹介

岩見 仁 総括教諭 退職  
古城秀典 教諭 鎌倉市立大船中学校へ  
村岡亜希菜 支援員 長柄小学校へ

## 新入生の皆さんへ

いよいよ中学生の生活がスタートしました。新しい環境で生活を始めるのは誰でも不安なものです。きっと多くの皆さんが緊張したり、新しい環境になじむためにどうしたらよいだろうかなど感じているのではと思います。

もし、悩みや心配事があったら、一人で悩まずにいつでも先生方に申し出てください。必要に応じてスクールカウンセラーの先生や心の教室相談員の先生、養護教諭(保健室の先生)にも相談することができます。

## 感謝

春休みの期間に、葉山町シルバー人材センターの方々に山茶花等の樹木の剪定を行っていただきました。校門からの通学路が大変きれいになりました。本当にありがたく思います。

## 平成29年度 南郷中学校 教育基本方針

### 1 学校教育目標(育てたい子どもの姿)

#### 「自立」と「共生」

- 自立心をはぐくむ  
【自ら考え行動できる生徒】 【自分を律することのできる生徒】
- 共生力を高める  
【学校という社会で、様々なタイプの級友の中に居場所を獲得できる生徒】  
【互いに認め合い、集団としての達成感を通して、人との関わりの中に喜びを見いだせる生徒】

#### 〈目指す生徒像〉

- 主体的に行動する生徒
- 思いやりがあり、心身ともに健康な生徒
- 自らに誇りを持つ生徒

#### 〈目指す学校像〉

- 認め合い高め合う学校
- 安心・安全に学ぶことのできる学校
- 一人ひとりの生徒を大切にす学校
- 保護者・地域から信頼され、ともに歩む学校

#### 〈目指す教職員像〉

- 情熱を持ち、生徒の気持ちを捉え・寄り添い、共に活動する教師(熱意)
- 楽しく分かる授業を心がけ、授業改善に努める教師(力量)
- 厳しさと温かさを備えて、生徒一人ひとりの個性や可能性を伸ばす教師(信頼)

### 2 学校経営の基本方針

- (1)学びのサイクルの充実を図る
- (2)生徒指導・支援教育の推進・充実を図る
- (3)保護者・地域と一体となった教育活動の推進を図る

### 3 重点目標

- (1)学びのサイクル(3年間の教育活動を通して)の充実
  - 一人ひとりの教員が「授業を分かりやすくしっかり教える」とともに「基礎基本の定着」「確かな学力の定着」に努める。
  - 日々の実践、個々の研鑽・授業研究等を通して、指導方法の工夫・改善を図り教科指導力(授業力)を高めるよう努める。
  - 教育課程全般を通して、言語活動の充実を図り、自分の考えが適切且つ端的に表現できる生徒の育成に努める。
  - 「質問しやすい工夫」「学習が停滞している生徒の補習」「家庭学習の定着」など具体的な手立てを学年ごとに計画・実行する。
  - 学級活動・委員会活動・行事・部活動等においても、活動・活躍の機会を積極的に設定し能力の育成を図るとともに効率化に努める。
- (2)生徒一人ひとりの個性の理解と支援教育の推進
  - 小規模校であることを利点ととらえ、一人ひとりの生徒をよく観察し変化を見逃さないようにするとともに全職員による生徒理解の徹底・成長の手助けを図る。
  - 校内支援委員会の充実を図り情報を共有化し、全職員が立場に応じて適切な指導にあたる。
  - 教育相談機関の充実を図るとともに、相談しやすい雰囲気工夫等、心理的に安心できる環境づくりに努める。
- (3)保護者・地域との連携
  - 地域に開かれた学校を目指し、保護者と連携して指導にあたるとともに、多くの大人に見守られている環境づくりに努める。
  - FGC活動に積極的に取り組むことによって、葉山町への愛着心を培わせる。
  - 学校評議員・PTA・中学校区懇話会等を通し、地域との連携を深めるとともに関係者からの評価を受け止め、学校改善に活かす。